

### 3. 実際に話を進めていく過程での課題と対応

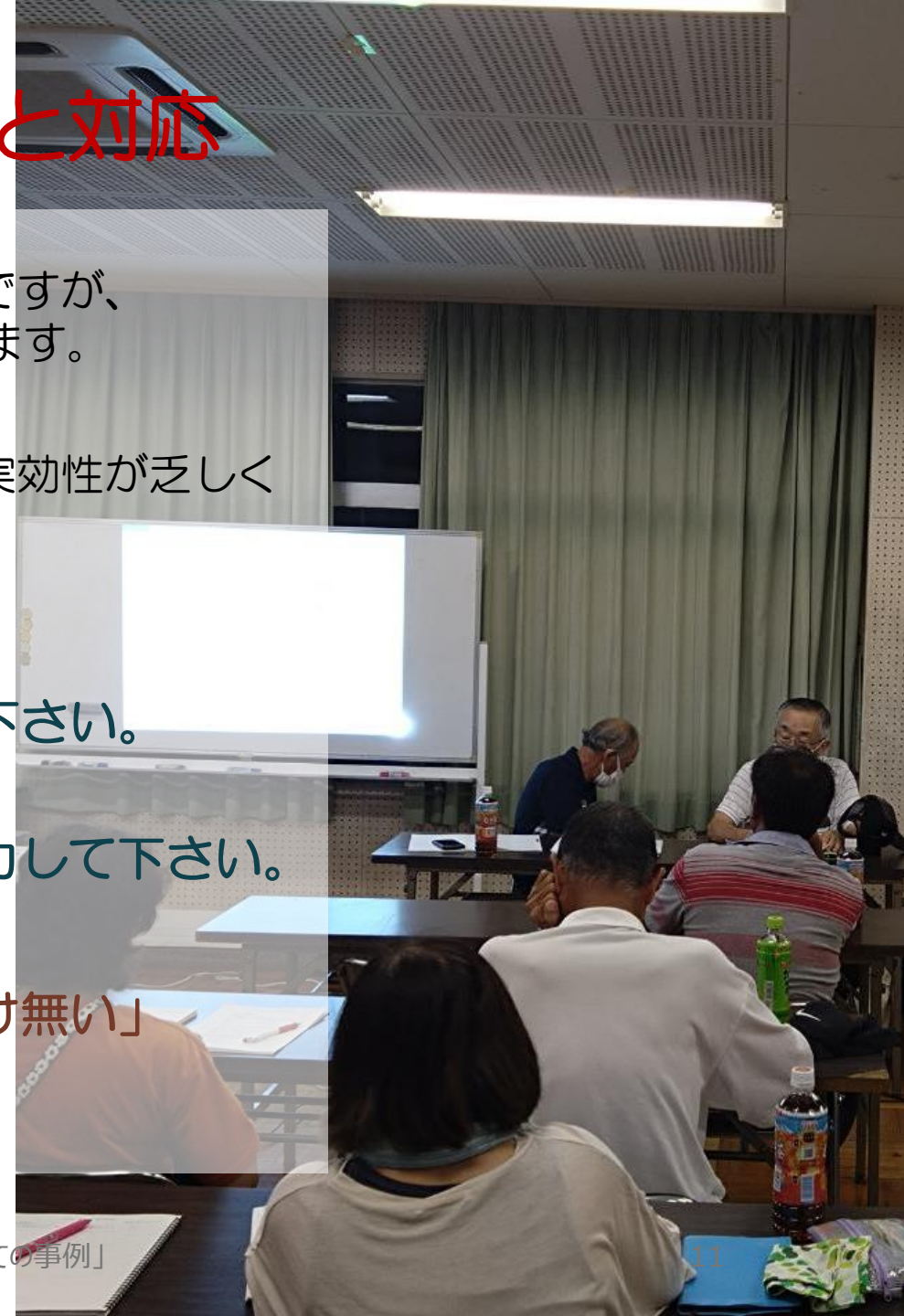
検討会などの場で議論を進めていく過程で、積極的な意見や提案を頂くのは本当にありがたく勉強になるのですが、**高齢化の影響で活動できる人員がいない**自治会さんもあります。

その為、各自治会（自主防災会）さんに多くの事を役割として決めても実効性が乏しく反発する方や、投げ出してしまう事も考えられた事から、**2つの事のみを御願います**に留めました。

1つ目は、各自治会さんのやり方で安否確認をして結果を連絡して下さい。

2つ目は、他の自治会さんで困った事が発生したら出来る範囲で協力して下さい。

この2つの事のみであっても、「こんなんやっても一緒」「やるだけ無駄」「出来るわけ無い」「避難所なんかで生活出来ない」と言った否定的な意見は今でも言われます。



### 3. 実際に話を進めていく過程での課題と対応

これは基本的な考え方の違いかもしれませんが、何もしない時よりも1人でも助かるかもしれない可能性があるのなら結果的に無駄になったとしてもやるべきであり、まして「まち協」や「自治会」といった組織であれば「何もしない」という選択肢はそもそもありません。

だからこそ、**今考えられる事はやっておく。**

という考え方の理解を求めていく訳ですが、無理に押しつけるのではなく

**「無駄だったとしても、やれる事はやりませんか？」**

くらいの話しに留めています。

ただ否定的な考えの方も一定数おられますので、総会議案として決議する事で、全体として「承認」する形で最終的な「総意」と致しました。ちなみに議案に対しての反対意見は全くありませんでした。

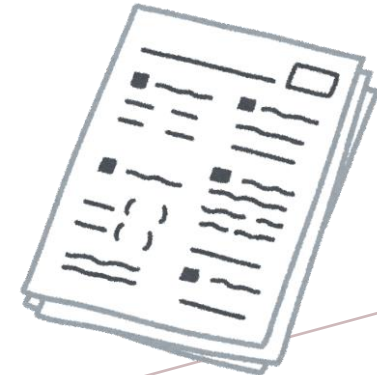
言い方が悪いかもしれませんが、仮に否決となったとしても、まち協としては作ろうとしている努力は形に残りますので、万一災害が発生したとしても明確に理由（責任の所在）を明らかにする事が出来ると考えています。



## 4. 次のステップ(今の課題と、解決に向けての活動)

さて、ここまでで「地区防災計画」は作成する事が出来た訳ですが、防災はやればやるほど課題が生じる「奥深い」ものでした。現在までに直面した課題と解決に向けての活動は次のようになります。

- ①各自主防災会（自治会）役員の多くが1年で交代してしまう。
- ②住民、特に自治会役員の高齢化が進んでいる。
- ③自治会への加入率が低く、場所によっては自治会がない。
- ④避難所となる小学校は別の行動マニュアルで動いている為、調整が必要。



## 4. 次のステップ(今の課題と、解決に向けての活動)

### ①各自主防災会（自治会）役員の多くが1年で交代してしまう。

#### 課題：

1年の時間と検討を重ねて「地区防災計画」を作成するに至りましたが、申請したのが総会後の5月下旬(2023年)となった為、市の承認を頂けたのは翌年(2024年)5月と**1年後**となりました。

この間、具体的に全体活動が出来なかった事もあり、検討会を実施していた2022年度の自主防災会（自治会）役員さんが交代されており、引き継ぎも出来ていないのか事情（地区防災計画）を知らない方も多く、改めて**初めから説明が必要**な状況となっています。

#### 解決に向けての活動：

11月の防災訓練に向けて再度周知・説明を行っています。



## 4. 次のステップ(今の課題と、解決に向けての活動)

### ②住民、特に自治会役員の高齢化が進んでいる。

#### 課題：

3項でも話を致しましたが、自治会さんによっては**役員の高齢化**が進んでおり安否確認どころか自治会運営もままならなくなっています。

#### 解決に向けての活動：

個別に無理のないような安否確認方法などの検討や自治会への**新規加入を増やす**などの活動を進める必要があります。

また、自主防災会（住民組織）だけによらず**地区内にある企業**にも協力を求め、地区一丸となって災害に対処しようと活動をしています。



## 4. 次のステップ(今の課題と、解決に向けての活動)

### ③自治会への加入率が低く、場所によっては自治会がない。

#### 課題：

前②でもあるとおり、安倉地区全体としても自治会加入率が低く、場所によっては自治会が解散するなど**自治会の無い所**が生じています。

#### 解決に向けての活動：

災害は自治会の有無にかかわらず発生しますので「**自治会エリアマップ**」を作成し

- ・自分たちの住んでいる所がどの自治会なのか、
- ・そもそも自治会があるかどうかを知ってもらい、

自治会に加入しない事での**リスクやメリットを理解**して頂く事で加入数の増加や新たな自治会設立につなげたいと考えています。



## 4. 次のステップ(今の課題と、解決に向けての活動)

### ④避難所となる小学校は別の行動マニュアルで動いている為、調整が必要。

#### 課題：

避難所となる安倉小学校に避難所運営について話を伺ったところ、学校は学校として時系列で「このタイミングではこう言った行動をする」という**決まりがある**そうです。

その為、発災時（学校に生徒がいる状態）にいきなり地域の方が学校に押し寄せ体育館に避難させて欲しいと言われても、**学校としては子どもたちの安全確保や保護者への引き渡しなどがあり、それは困る。**と言う事になります。

（教室に至っては、使用可能な状態になるまでかなり時間を要します。）

#### 解決に向けての活動：

上記課題の調整をしながら「避難所運営マニュアル」を作成しなければならず、こちらの考えとは別で**学校側とも調整が必要**になりました。

※それとは別の話となりますが停電になると照明器具など折角ある学校設備が使用できなくなります。仮に大型発電機などを地区で準備しても設備側が外部電源に対応していない為に接続する事が出来ず、設備とは別で照明などを準備する必要があります。  
こういった所を無くすように市としても設備の改善を頂ければと思います。



## 4. 次のステップ(今の課題と、解決に向けての活動)

ご存じの通り、まち協では防災以外にも多くの活動があります。  
また、地区の皆さんが同じ考えで進んでいるというわけでもありません。  
(「なぜ行政がしないのか」という意見も一定あります。)

なかなか思うように話がまとまらず  
時間ばかりを費やしている感は否めませんが、  
少しでも減災につなげていける様に  
今後も活動していきたいと思います。





救急法・毛布で担架  
身近なものをつくってみよう！

ありがとうございました

安倉地区まちづくり協議会の取り組みでした。

コミュニティ安倉

安倉地区まちづくり協議会



まちキョウ